



クイックスタートガイド

BUGERA TRIREC INFINIUM

100-Watt 3-Channel Tube Amplifier Head with INFINIUM Tube Life Multiplier, Tri-Mode Rectifier, Reverb and VARIPOWER

Bugera

JP

JP 安全にお使いいただくために



注意
感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (¼" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。

注意
火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

注意
このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

注意
取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前の良にお読みください。

注意

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使用してください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

9. ニ極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。ニ極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついてます。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電器技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。



12. 電源タップや電源プラグが電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに手に届く場所に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。

14. カート、スタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したものの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用時の運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。

17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いただけません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。



法的放棄

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、MUSIC Group は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。MIDAS、KLARK TEKNIK、TURBOSOUND、BEHRINGER、BUGERA および DDA は MUSIC Group IP Ltd. の商標または登録商標です。© MUSIC Group IP Ltd. 2015 無断転用禁止。

限定保証

適用される保証条件と MUSIC Group の限定保証に関する概要については、オンライン上 music-group.com/warranty にて詳細をご確認ください。

重要な注意事項



次の事項の確認を怠ると、アンプリファイヤーやラウドスピーカーの損傷の結果となる場合があります。この用な場合による損傷は、保証の対象外となります。

- ラウドスピーカーが正しいインピーダンスであること。適切な出力ソケットが使われていることを確認してください。
- アンプとラウドスピーカーの接続には、必ずラウドスピーカー用のケーブルを使用してください。楽器用のケーブルやマイクロフォン用のケーブルは使わないでください。

ご使用前に

この製品は輸送時の安全のために組み立て工場で注意深く梱包されています。ボール紙の箱の状態に損傷が見られる場合は、機器をすぐ調べて、物理的な損傷がないかどうか確認してください。

- 機器が損傷していた場合は、弊社に直接送らないでください。すぐに機器を入手した販売店と配達した運送業者に知らせてください。それ以外の場合は、すべての交換/修理の要求が無効になる場合があります。

- 保管と運送による損傷を防止するため、つねにオリジナルの梱包を使用してください。

- 子供から目を離し、機器またはパッケージで遊ばせないでください。

- すべてのパッケージ部材は環境的に適切な方法で処分してください。

- 十分な通風を確保してください。オーバーヒートを避けるため、温熱機のそばで使用しないでください。

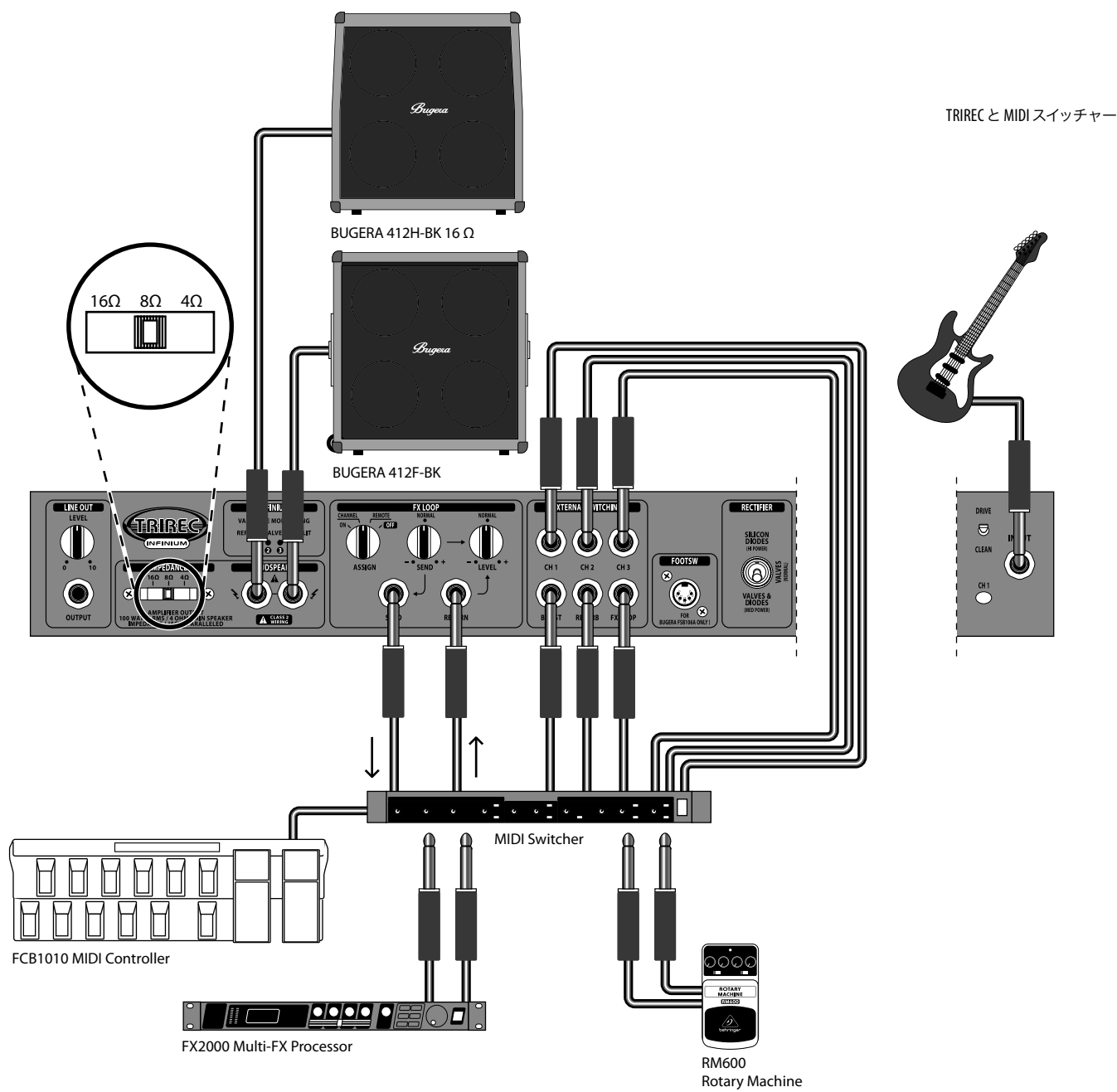
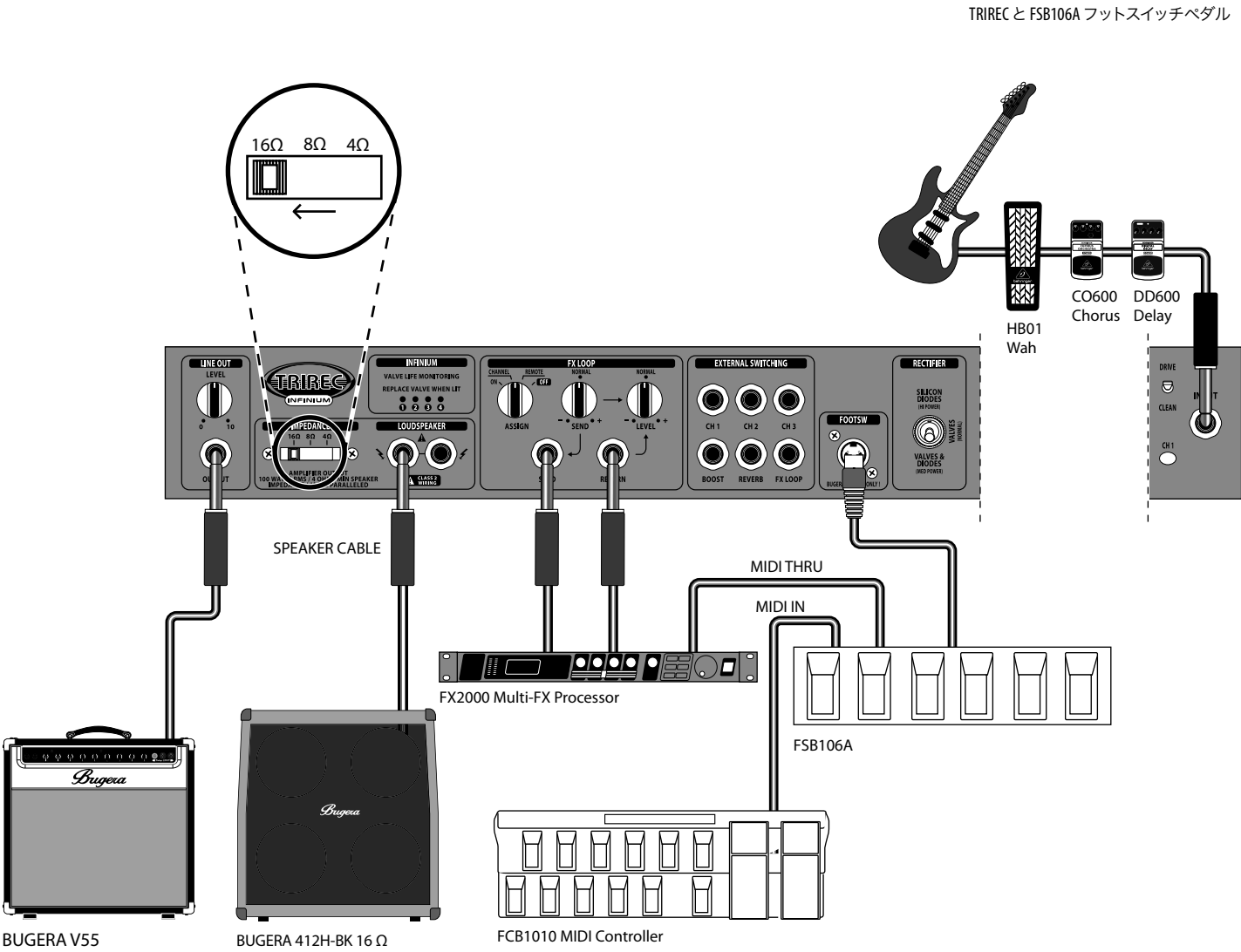
- すべての機器が適切にグランド接続されていることを確認してください。グランド接続用の導体を機器や電源ケーブルから外さないでください。機器は常時コンセントの安全用のグランド接続に接続されている必要があります。

設置上の重要な注意事項

- 強力な放送電波や高周波の発信源の影響により、音質が損なわれる場合があります。トランスミッターと機器との距離を離したり、すべての接続にシールドされたケーブルを使ってください。

BUGERA TRIREC INFINIUM フックアップ

ステップ 1: フックアップ

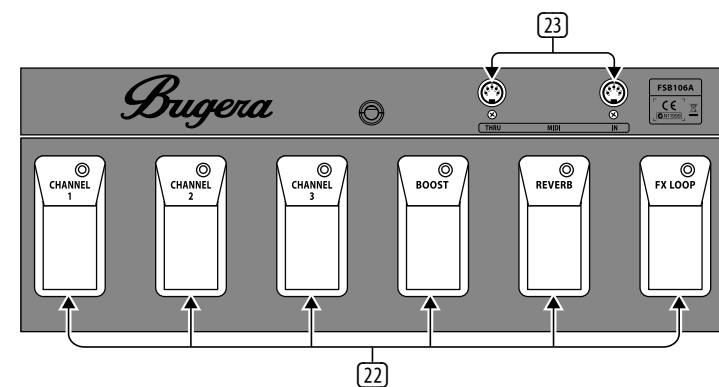
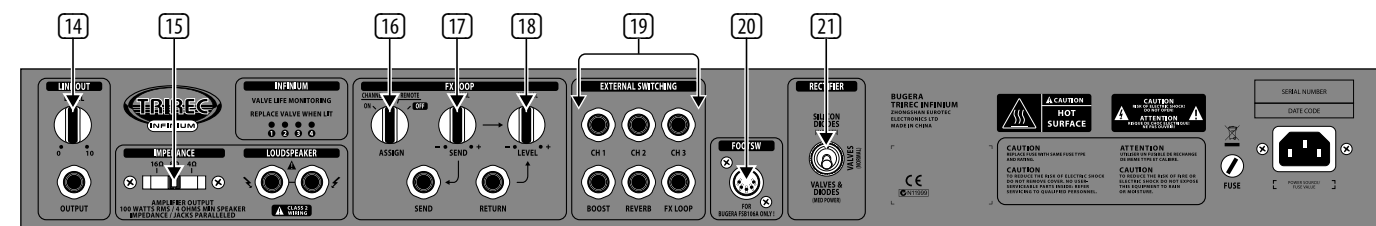
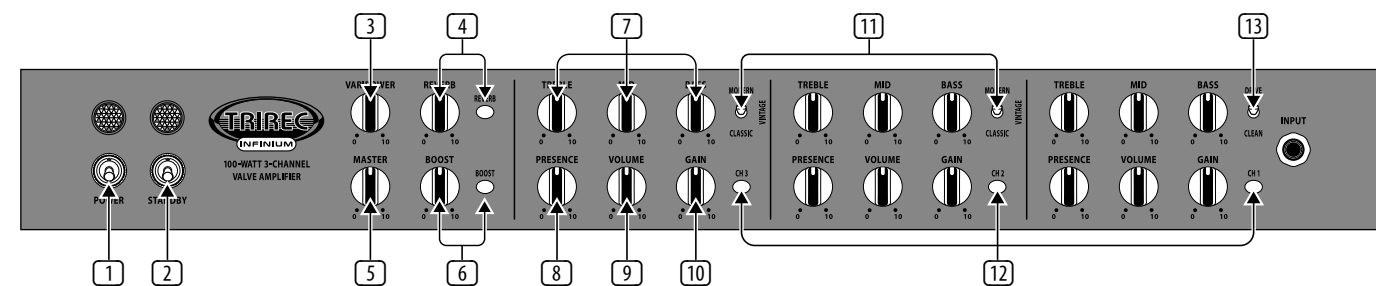


スピーカーインピーダンス表

▼ ラウドスピーカー ▼		16Ω 16Ω 8Ω 4Ω	8Ω 16Ω 8Ω 4Ω	4Ω 16Ω 8Ω 4Ω
16Ω	X	♪		
8Ω	X		♪	
4Ω	X			♪
16Ω	16Ω		♪	
16Ω	8Ω			♪
8Ω	8Ω			♪

注意: 不適切なインピーダンスの選択はアンプに損傷を与える場合があります!

BUGERA TRIREC INFINIUM コントロール



ステップ 2: コントロール

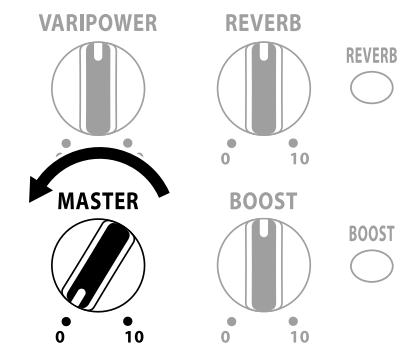
- ① **POWER** スイッチはアンプのオン / オフをします。
- ② **STANDBY** スイッチはアンプの出力をミュートし、真空管を保護します。
- ③ **VARIPOWER** ノブは最大出力の特性を調整します。低い音量でもパワー管の飽和によるコンプレッションとサステイン効果を得ることができます。
- ④ **REVERB** ノブはリバーブエフェクトの量を調整します。隣接する REVERB ボタンでエフェクトをオン / オフ可能です。
- ⑤ **MASTER** ノブはアンプの全体的なボリュームを調整します。
- ⑥ **BOOST** ノブはボリュームブースト量を調整します。ブーストは、隣接するボタンまたはフットスイッチ FSB106A でオン / オフすることができます。
- ⑦ **TREBLE, MID, BASS** のノブはチャンネルの高域、中域、低域を調整します。
- ⑧ **PRESENCE** ノブはチャンネルの超高域、クリアー、シャープさを調整します。
- ⑨ **VOLUME** ノブはチャンネルボリュームを調整します。
- ⑩ **GAIN** ノブはチャンネルのディストーションの効きを調整します。
- ⑪ **CH 2, 3 MODE** スイッチは、CLASSIC、VINTAGE、MODERN の 3 つのトーンの中から選択できます。ブルースやクラシックロックに適したクランチトーンはスイッチを CLASSIC に設定します。VINTAGE はハードロックのリズムとリード演奏のためのハイゲインと歪を提供します。MODERN ではさらにゲインが増し、究極のヘヴィメタルサウンドを提供します。
- ⑫ **CHANNEL** ボタンは 3 チャンネルの内どれを選択するかを決定します。
- ⑬ **CH 1 MODE** スイッチは CLEAN 設定のピュアなクリーンサウンド、または DRIVE 設定のダイナミックなクランチ・トーンのどちらかを選択します。
- ⑭ **LINE OUT** ノブは、スレーブアンプで使用するための OUTPUT 端子のレベルを調整します。
- ⑮ **IMPEDANCE** スイッチは 4、8 もしくは 16 オームを選択します。
- ⑯ **ASSIGN** ノブは以下を選択します:
 - **ON** – FX LOOP を常にアクティブにします。
 - **CHANNEL** – FX LOOP, REVERB, および BOOST の オン / オフは、チャンネルごとに保存され、チャンネルが選択されるたびに呼び出されます。
 - **REMOTE** – FX LOOP は FSB106A フットスイッチや EXTERNAL SWITCHING ジャックでオン / オフされます。
 - **OFF** – FX LOOP を常に非アクティブにします。
- ⑰ **SEND** ノブは FX LOOP SEND 端子の出力レベルを調節します。調整の際はエフェクトプロセッサがクリップする寸前まで高く設定すると良いでしょう。
- ⑱ **LEVEL** ノブは RETURN ジャックから入力される信号のレベルを調節します。バイパス信号とエフェクトプロセッサからの FX ループの信号とのバランスをとるために LEVEL つまみを調整します。
- ⑲ **EXTERNAL SWITCHING** はチャンネルの切り替えを可能にするアンバランスのアンラッチジャックです。BOOST、REVERB と FX LOOP の選択が外部スイッチングシステムによって制御可能です。
- ⑳ **FOOTSW(ITCH)** は付属の FSB106A フットスイッチを接続することができます。
- ㉑ **RECTIFIER** スイッチはシリコンダイオード整流器の極太のパワフルなサウンド、整流管の暖かいサウンド、またはその両方の組み合わせを選択できます。
- ㉒ **SWITCHES** はチャンネル選択、BOOST、REVERB および FX LOOP のオン/オフ・ステータスを選択します。スイッチにはそれぞれオンの場合に点灯する LED が搭載されています。各スイッチは MIDI パラメーターに対応しています。詳細については、ステップ 3 を参照してください。
- ㉓ **MIDI IN** および **MIDI THRU** は FSB106A の機能を外部 MIDI コントローラーで切り替えることが可能です。

BUGERA TRIREC INFINIUM はじめに

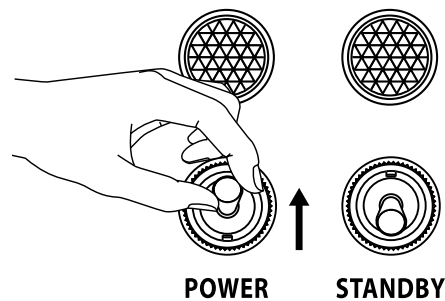
ステップ 3: はじめに

1 適切なオーディオケーブルおよび電源ケーブルを TRIREC に接続します。その際すべてのデバイスの電源をオフの状態にして。

2 MASTER ノブはゼロにします。

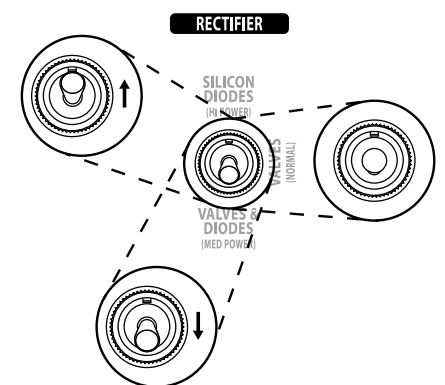


3 STANDBY スイッチを下 / オフの位置にあることを確認して POWER スイッチをオンにしてアンプの電源を入れます。

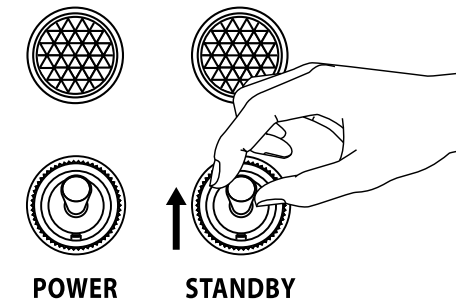


4 そしてアンプに接続された他の機器の電源を入れます。

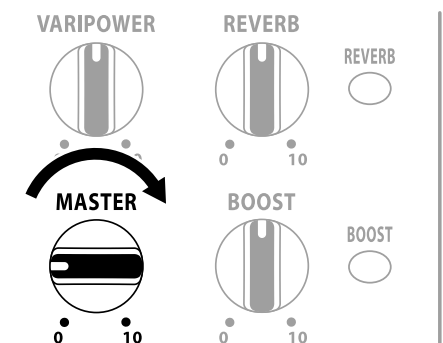
5 背面パネルの RECTIFIER の設定を選択します。シリコンダイオードは高出力とタイトな低音のレスポンスを持っています。整流管は低出力ですが、多くのギタリストが好むタッチレスポンスを生成します。さらに二つの組み合わせを選択することもできます。



6 POWER スイッチをオンにして1分ほど経ってから、STANDBY スイッチをオンにします。

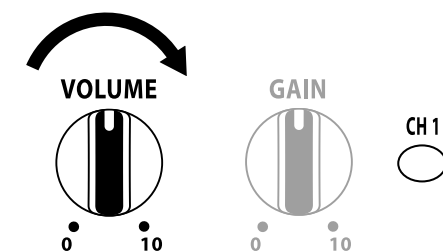


7 MASTER ノブは 9 時の位置からスタートしてください。

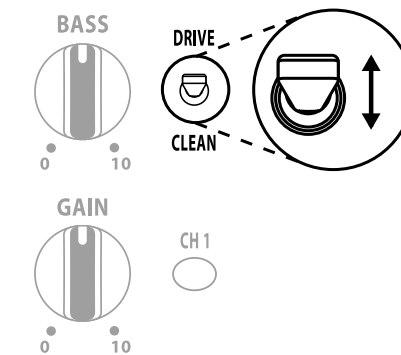


8 CHANNEL ボタンまたは FSB106A フットスイッチを使用して、3 チャンネルのいずれかを選択します。

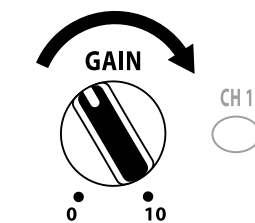
9 選択したチャンネルの VOLUME ノブを半分ほどまで回します。



10 チャンネルのモードスイッチを使用して、音質のキャラクターを選択します。



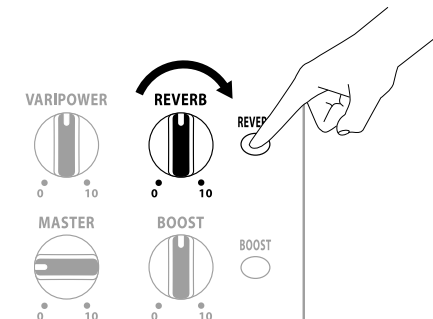
11 GAIN ノブにて歪みの量を調整します。EQ、Gain、ボリュームの設定によっては、フィードバックを引き起こす可能性があります。



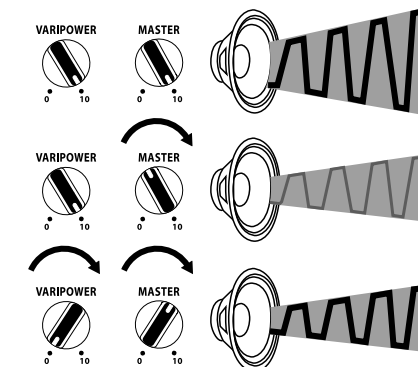
12 TREBLE, MID, BASS, PRESENCE を使ってイコライザを調整します。

13 他のチャンネルも 8 から 12 を繰り返します。それぞれのチャンネル間の出力レベルのバランスをとるために、各チャンネルの VOLUME ノブで調整をします。

14 REVERB 機能をオンにし、リバースを調整します。デフォルト設定に REVERB をリセットするには、アンプの電源を入れてから最初の数秒以内に REVERB ボタンを押してください。



15 低い音量でパワー管の飽和を得るためには反時計回りに VARIPOWER つまみを調節してください。全くパワーリダクションが必要とされない場合は時計回り一杯に VARIPOWER ノブを回します。この設定では MASTER ボリュームノブが通常に動作して最大出力を得ることができます。



16 ソロパート演奏中のブーストを得るためには、BOOST 機能をオンにして必要なブースト量を BOOST ノブで調整します。

17 FX LOOP でエフェクトを使う場合、ループが常にアクティブ状態な ASSIGN ノブを ON に設定します。FSB106A フットスイッチでオン / オフを制御したい場合は、ASSIGN ノブを REMOTE に設定します。CHANNEL 設定に従って継続的にフットスイッチでループが制御されますが、各チャンネルごとの FX LOOP、BOOST と REVERB (ディケイとセンドレベルを含む) のオン / オフの状態は保たれます。FX LOOP を使用しない場合は、ASSIGN ノブを OFF に設定してください。

18 SEND および LEVEL ノブを調整して、プロセッサとアンプ間の最適な FX LOOP の信号レベルを調整します。FX LOOP をオン / オフしながらバランスを確認してください。

19 お楽しみください!



MIDI インプリメンテーション

CC12	FX LOOP (x00, x01)
CC13	BOOST (x00, x01)
CC75	REVERB DECAY (0-7) デフォルトDECAY のセッティングは 3 DECAY のリセット SEND を 127
CC91	REVERB SEND (コンティナス, 0-127) Stored per channel when FX LOOP ASSIGN is "Channel" Reset to default REVERB SEND (127) by pressing REVERB during power up
CC120	MUTE
PGM 001	CH 1
PGM 002	CH 2
PGM 003	CH 3
PGM 011	CH 1 + BOOST オフ
PGM 012	CH 2 + BOOST オフ
PGM 013	CH 3 + BOOST オフ
PGM 021	CH 1 + BOOST オン
PGM 022	CH 2 + BOOST オン
PGM 023	CH 3 + BOOST オン

デフォルト MIDI チャンネル = 1

01 から 06 の MIDI チャンネルを選択するには、電源投入時に FSB106A フットスイッチ 1~6 のいずれかを踏んだままにします。

BUGERA TRIREC INFINIUM Valve Life Monitoring and VARIPOWER

Step 4: INFINIUM Valve Life Monitoring and VARIPOWER

INFINIUM 真空管ライフモニター回路は継続的に出力管のバイアス値を監視し、最適なパフォーマンスと一貫したトーンを約束します。出力管の交換時期にはバックパネルにある各真空管に備えられた LED が点灯して知らせます。この回路は真空管毎にモニターしてくれるのでマッチペア真空管セット等を必要としません。各真空管は不安定な電源電圧変動にも応じず理想的な電流値で動作します。真空管の交換が必要な時には、新しい真空管を挿しかえるだけで即座にアンプを使うことができます。新しい真空管のためにバイアス調整はもう必要ないのです。さらに EL34/6550、6L6/5881 系の真空管をミックスして使用することもできるのです

不良真空管の交換について

1. アンプの電源を落とし、真空管が触れるくらいの温度になるまで待ちます。
2. 真空管補強パネを片手 2 本の指で押し下げ、軽く左右に揺らしながら真空管を引き抜きます。
3. ソケットにある切り欠きと真空管ピン中央のノッチを合わせ、慎重に新しい真空管を。
4. ソケットにピンが収まるように軽い力で真空管を押し込みます。
5. スタンバイスイッチを確認してアンプの電源を入れます。
6. INFINIUM 真空管ライフモニターの LED が点灯していないことを確認して完了です。

 フロントパネルランプの何れかが点滅し始めたときには、真空管トラブルでアンプが正常に動いていないことを示しています。この場合、不良のパワー管を即座に交換することをお勧めします。

VARIPOWER パワースケーリング

VARIPOWER 機能は出力五極管の 2 つの中心となるパラメーター——真空管のアイドリング電流と電界効果を調整します。これにより出力段の電力容量を 100 ワットから数ワットまで連続的に減少させることができます。プリアンプのサウンド保ちつつ TRIREC INFINIUM のパワフルな出力段は5ワットのオールチューブブラクティスコンボアンプのように使うことができます。MASTER ボリュームレベルと VARIPOWER セットアップをバランス良く使うことにより、穏やかなパワーアンプコンプレッションからヘビーパワーステージディストーションまで真空管に負担をかけることなくこれらのサウンドを手に入れることができます。これが一般的なパワーアッテネーションより先を行く VARIPOWER テクノロジーです。

注意: VARIPOWER セットアップを変えるときはターゲットバイアス電流が INFINIUM の制限値へ自動的に適応されます。演奏しながら VARIPOWER を調整すると、若干の音量変化を聞き取ることができると思いますが、VARIPOWER はあなたのプレイに要求されるアンプの特性をスケーリングするのであって、演奏しながらサウンドを変化させてゆく物ではありません。



JP 技術仕様

Preamp Section	
Valves	
Dual triode type	1 x 12AX7A, 3 x 12AX7B, 1 x 12AX7C
Input	
Type	¼" unbalanced mono jack
Impedance	800 kΩ
Effects send	
Type	¼" unbalanced mono jack
Impedance	15 kΩ
Output level	adjustable
Effects return	
Type	¼" unbalanced mono jack
Impedance	9 kΩ
Input level	adjustable
Line output	
Type	¼" unbalanced mono jack
Impedance	3 kΩ
Output level	adjustable
Power Amplifier Section	
Valves	
Tetrode/Pentode type	4 x 6L6GC (default) or 4 x EL34
Rectifier type	2 x 5U4
Output power	
Varipower minimum	< 1 Watt @ 16 Ω / 8 Ω / 4 Ω
Varipower maximum	
Diode rectification	115 Watts @ 16 Ω / 8 Ω / 4 Ω
Valve rectification	95 Watts @ 16 Ω / 8 Ω / 4 Ω
Infinium	
Biasing (INFINIUM Valve Life Monitoring)	< 5 mA to 34 mA, depending on Varipower
Loudspeaker connectors	
Type	2 x ¼" unbalanced mono jacks
Load impedance	4 Ω / 8 Ω / 16 Ω switchable
Power Supply / Voltage (Fuses)	
U.S./Canada	120 V~, 60 Hz (T 6.3 A H 250 V)
China	220 V~, 50 Hz (T 3.15 A H 250 V)
Korea	220 V~, 60 Hz (T 3.15 A H 250 V)
Europe/U.K./Australia	230 V~, 50 Hz (T 3.15 A H 250 V)
Japan	100 V~, 50/60 Hz (T 6.3 A H 250 V)
Power consumption	350 W
Mains connection	Standard IEC receptacle
Dimensions / Weight	
Dimensions (H x W x D)	310 x 687 x 245 mm (12.2 x 27.1 x 9.6")
Weight	23.6 kg (51.9 lbs)

その他の重要な情報

JP その他の重要な情報

1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択:
ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230 V と 120 V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。
2. 故障: BUGERA 製品の故障について、弊社は可能な限り迅速に修理をさせていただく意向です。商品を購入した BUGERA 製品取扱店にお問い合わせください。BUGERA ディーラーがお近くにならない場合は、bugera-amps.com のサポート・エリアに列記されている弊社の子会社かディストリビューターにお問い合わせください。
3. 電源接続: 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

Bugera